

平成 21 年度  
(2009 年度)

事業報告

平成 22 年度  
(2010 年度)

事業計画(案)

平成 21 年度事業報告 ..... 2

<総括報告>..... 2	4 日本語学習事業
1 外国人の人権擁護と自立支援	4-1 日本語教室 ..... 14
1-1 生活相談..... 3	4-2 親子日本語教室 ..... 15
1-2 シェルター ..... 4	4-3 国際子どもクラブ ..... 16
1-3 DV講習会・生活相談勉強会 ..... 4	4-4 二市一町日本語教室ボランティアネットワーク ... 17
1-4 パソコン教室 ..... 5	5 子どもの健全育成
2 国際理解と国際交流の推進	5-1 ふじみの国際わいわいクラブ ..... 18
2-1 国際理解講座 ..... 6	6 その他
2-2 大学との協働 ..... 7	6-1 行政との協働 ..... 19
2-3 子どもと共に育つ親の会 ..... 7	6-2 NGO・NPOネットワーク ..... 20
2-4 語学教室 ..... 8	6-3 その他 ..... 20
3 多言語情報の収集と提供	6-4 センターの365日 ..... 21
3-1 生活情報誌「インフォメーションふじみの」 ..... 9	6-5 センター内会議 ..... 21
3-2 機関誌「ハローフレンズ」 ..... 10	
3-3 ホームページ ..... 12	
3-4 翻訳・通訳 ..... 13	

平成 22 年度事業計画案 ..... 24

## 平成 21 年度 事業報告

### <総括報告>

2009年度（平成21年度）ふじみの国際交流センターでは、以下のような事業を行った。センターが主な対象とする埼玉県富士見市、ふじみ野市、三芳町（二市一町）の外国人登録者数は、2009年末で3,818人となっており、前年比9%増、10年前の1999年と比較すると89%もの増加となっている。センターも、1997年（平成9年）の創設以来13年が経過して、その活動がますます重要性を増している。

事業名	事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者	
外国人の人権擁護と自立支援	生活相談	5日/週	センター他	10名	718名	
	シェルター	通年		10名	延236名	
	DV講習会	11/7・12/19	ふじみ野市	10名	40名	
	パソコン教室	第2,4木曜14回	センター	延47名	延132名	
国際理解と国際交流の推進	国際理解社会教育	国際理解講座	21回	小中高校・公民館他	延54名	3,000名
		大学との協働	5大学	大学・県NPO活動推進課	5名	670名
	語学教室	中国語教室	金曜・随時 119回	センター	延137名	延378名
		韓国語教室	毎週月・水曜90回	センター	延90名	延461名
		英語教室	木・火曜57回	センター・西公民館	延57名	延274名
	子どもと共に育つ親の会	12回	富士見市/ふじみ野市	3名	274名	
多言語情報の収集と提供	生活情報誌の発行	12回	センター	11名	6000部	
	ハローフレンズ	隔月	センター	3名	6000部	
	ホームページ	随時	センター	1名	アクセス数年27万件	
	生活ガイドHP維持管理	4回/年	センター	6名		
	翻訳・通訳	130件	センター・県内	延130名	外国籍市民	
日本語学習支援	日本語教室	50回	センター	延217名	延332名	
	親子日本語教室	毎週土曜45回	大井中央公民館	延259名	延262名	
	国際子どもクラブ	土曜、長期休暇中	センター	延576名	延588名	
	日本語指導者育成講座	13回	大井中央公民館・大井総合福祉センター	延39名	延274名	
子どもの健全育成	ふじみの国際わいわいクラブ	イベント10回 キャンプ1回	地域公民館他 埼玉県	延105名	延420名	

# 1 外国人の人権擁護と自立支援

## 1-1 生活相談

今年も大勢の人から相談を受けた。親が日本語の読み書きができないために「子どもへの学習支援」や「学校からの手紙の解説や代筆」の依頼が相変わらずトップであった。「外国人支援の根幹は日本語指導」ということを毎年痛感している。子ども手当の話が出たためか母国から子どもを呼び寄せたいという相談がたくさんあった。

その他、今年は特に目立ったのがリストラや仕事のシェアーマつわる相談。「リストラされたので仕事を世話してほしい」「労働時間も給料も今までの1/3になってしまった」「夫が家にいるので夫婦喧嘩が絶えない。どこか仕事はないか」といった相談に対応して、心当たりの会社に頼んでみたものの、NOの返事ばかりであった。

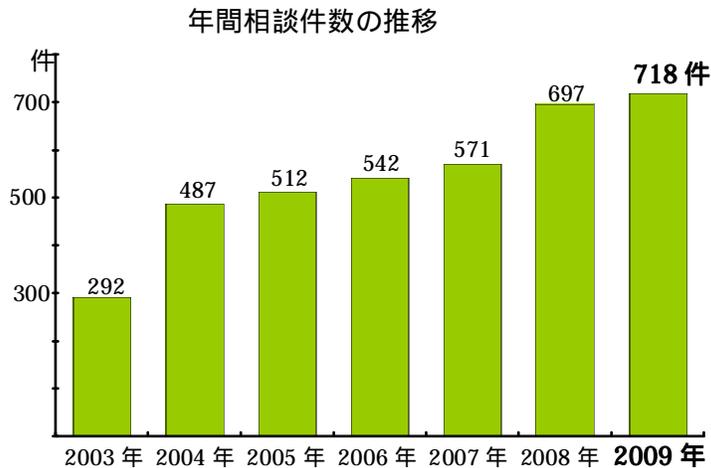
また、リストラがもとでアルコール依存になったり、うつ病になったり奥さんや子どもに暴力を振るうという相談もたくさんあった。

項目	内容	件数
医療	医療費、病院へ同行(入院手続き等) うつ、アルコール依存	35
家族	離婚、夫婦トラブル、交際相手、DV、子ども	108
教育	学校との連絡、日本語支援、学習支援、入園・入学手続き	260
言語	日本語指導、翻訳、通訳、代筆	49
司法	税金、犯罪、裁判・法務局対応支援、子どもの国籍	35
住居	住まい探し、引越しの手伝い	18
生活	生活費、生活保護、近隣関係、国民年金・保険手続き	102
入管	ビザ、外国人登録証申請・更新、帰国、保証人	46
労働	求職、会社とのトラブル、技能修得、労働災害	54
その他	ボランティア希望、友達がほしい	11
計		718件

結婚斡旋業者の紹介で結婚した夫婦のトラブルも増える一方。「条件がまったく違っていた」「年齢差についていけない」「暴力を振るう」といった外国人女性からの相談が後をたたない中、「言葉がぜんぜん通じない」「稼ぎに出たまま家に戻らない」「多額のお金を要求される」という高齢の日本人男性からの相談も目立った。

また、相談者の中にはリピーターも多く、いつまでたっても日本語が習得できず、相談する身寄りもなく、自分で計画したり決断できない人たちをどう自立に結びつけていったらいいのか課題は山積している。





国別

フィリピン	359
ブラジル	89
日本	54
中国	53
ベトナム	42
パキスタン	37
バングラディシュ	13
その他	71
計	718件

### 1-2 シェルター

2週間前後の約束のシェルターでの生活が1ヶ月を超えるようになったのは、外国人に貸してくれる不動産が少ないことと生活保護の許可に日数がかかるからだと思われる。

外国人のDV被害者母子の場合100%近くが生活保護をもらわないと生活できないのが実情である。保護を受けてアパートに転宅した後も、あらゆることで彼らとの関わり続く。被害者の中には基礎生活力に欠けている人が多く、生活保護費をもらっても自立できない。彼らに親身になって生活指導する母子支援施設の必要性を強く感じている。

また、シェルターを担当していると県内各地の生活保護担当職員と関わるようになるが、受給者に対する接し方が、担当者によって温度差があることを実感した1年でもあった。

また、今年の入居者の一人に「シェルターは子どもを育てる環境に向いていない」とか「センターは汚い」「私は国に帰れば金持ちなのだ」などと毒舌を吐いて、私たちのアドバイスも聞かず帰国した人がいた。結局、母国に帰っても助けてくれる身内はなく、一文なしで帰国し、彼女はDV被害者として保護を受けている。

こんなことがあると、外国人支援に全力投球しているスタッフでさえもブレイクダウンしてしまうが、幸いなことにFICECのシェルター担当者は意識が高く、熱い心を持っている人たちなのでショックを受けたにもかかわらず、懲りずに支援を続けている今日この頃である。

期 間	3/19~4/16	4/17~5/24	6/15~7/1	7/3~7/4	12/15~1/29	計
日 数	28	37	16	2	44	127
利用者数(大人・子ども)	3(1・2)	2(1・1)	2(1・1)	1	1	9(5・4)
累計人・日	84	74	32	2	44	236

### 1-3 DV 講習会・生活相談勉強会

多様化する外国人問題や刻々と変化する法律や条例に対応し正確な外国人支援ができるよう、いろいろな機会を設けてみんなで勉強している。

月日	内 容	場 所	参加
4 / 17	萩原先生勉強会「国際結婚の問題点」	センター	8
5 / 12	保科先生勉強会「共依存」	センター	6
5 / 15	萩原先生勉強会「国際離婚」	センター	6
5 / 20	D V担当者研修会	衛星会館	2
7 / 13	D V担当者連携会議	埼玉会館	1
7 / 22	外国人生活相談ネットワーク会議	地方庁舎	2
11 / 7	D V被害者支援ボランティア講座 女性のスペース「結」中村さん・牧田さん	西公民館	23
11 / 13	「入管法改正」	弁護士会館	2
11 / 17	保科先生勉強会「子どもの病気」	センター	7
11 / 27	外国人生活相談ネットワーク研修会	浦和地方庁舎	4
12 / 2	海老原夕美先生「子どもの虐待」	大井中央公民館	4
12 / 19	D Vボランティア養成講座 サバイバルネットワーク仲村先生	センター	17
2 / 3	コミュニティビジネス勉強会	セカンドリーグ埼玉	2
2 / 8	新入管法講座	弁護士会館	4
2 / 9	生活相談講習会	北浦和地方庁舎	4
2 / 15	コミュニティビジネスの申請	婦人相談センター	4
3 / 29	埼玉県D V被害者ネットワーク会議	埼玉会館	1
3 / 30	保科先生勉強会「アレルギーについて」	センター	7

#### 1-4 パソコン教室

2008年9月より外国籍の方を優先・中心としたパソコン教室をスタートさせた。主に「ワード」「エクセル」を中心に行っている。

「ワード」: 文字入力～簡単編集～罫線～図形～総合  
文書作成

「エクセル」: 四則演算～データ操作～グラフ作成～  
ワードとの融合

季節により「カード作成」「年賀状作成」他、皆さん  
一生懸命メモを取ったり復習したり、とても真面目に  
楽しそうに取り組んでいる。受講者は一年間で相当に  
技能が向上したと思える。

- ・開催日時：毎月第2, 4木曜日 午後1時～2時半
- ・開催回数：24回
- ・講師・スタッフ：延べ47人
- ・受講者：延べ132人

月	回数	受講者	スタッフ
4月	2	9	2
5月	2	18	2
6月	2	12	3
7月	2	14	4
8月	2	8	4
9月	2	8	6
10月	2	9	4
11月	2	11	5
12月	2	9	4
1月	1	5	3
2月	2	17	4
3月	3	12	6
	24回	132人	47人

## 2 国際理解と国際交流の推進

### 2-1 国際理解講座

ゆとり教育が批判をあびようになったため総合的な学習の時間がなくなり、学校での国際理解講座が減ってきている。反面、多文化共生が行政に求められるようになったために、公民館事業としての国際理解講座が増えてきている。

月日	内 容	場 所・講 師
4 / 27	さいたま市土合公民館さくら草学級	山本ヴァン
8 / 26	勝瀬小学校6年国際理解	柳・山本ヴァン・渡辺マリフェ
9 / 16	関沢小学校4年国際理解「アジアの人のお話会」	マリフェ・寺村・サルマ・イクラ
10 / 3	埼玉社会福祉会多文化ソーシャルワーク研究会 「外国人に係る生活支援」	埼玉社会福祉会館 石井
10 / 4	東松山国際交流協会「外国人相談支援組織について」	東松山総合会館 石井
10 / 11	「ダブルの子ども達の現状と課題」	上福岡カトリック教会 石井
10 / 13	関沢小学校3年国際理解1回目	サルマ・イクラ
10 / 19	関沢小学校3年国際理解2回目	サルマ・イクラ
11 / 18	ふじみ野市元福岡小学校国際理解	イクラ・ジャッキー・ニコラ・サラマ・伊勢谷・神田・石井
12 / 6	国際女性審議会「Let's 外国人支援」	県民活動センター 石井
12 / 15	さいたま市本太中学校国際理解	伊勢谷・ジャッキー・ニコラ・神田・石井
12 / 16	ふじみ野市元福小学校国際理解	伊勢谷・ニコラ・ジャッキー・サラマ・イクラ
12 / 19	埼玉県国際交流協会「多文化共生講習会」	日本語国際センター 石井
1 / 23	鶴ヶ岡小学校6年国際理解	ビッキー・伊勢谷・ニコラ・サラマ・イクラ・神田・上島・沢田・石井
1 / 30	上福岡西公民館日本語講座	西公民館 石井
2 / 19	ふじみ野レストラン「スリランカ料理」	西公民館 ヤマング・神田
2 / 25	ふじみ野レストラン「ロシア料理」	西公民館 ナタリア・石井
3 / 4	ふじみ野レストラン「パキスタン料理」	西公民館 イクラ・サラマ・石井
3 / 13	交際交流パネルディスカッション	日本語国際センター 石井
3 / 14	国際キーパーソン研修会	熊谷商工会 石井
3 / 19	外国人の人権講座「もくせい大学」	大井中央公民館 石井

## 2-2 大学との協働

「NPOが大学と同じ立場に立って学生を育てる」という思想に基づいて大勢の大学生をインターンとして受け入れている。

内 容	主 催	目 的	月 日
埼玉大学インターンシップ2人	埼玉大学経済学部	社会体験	夏休み期間中
SSCSインターンシップ2人	市民社会創造ファンド	NPOでの市民活動支援	通年 1人400時間
IP演習 5人	県立大学	地域連携と研修	10/5~8
日本工業大学との協働	日本工業大学	日本語教材の作成	通年
NPOと大学との協働	埼玉県 NPO 活動推進課	協働フォーラムの開催	5/14,23、8/19、11/2,28、1/22

## 2-3 子どもと共に育つ親の会

2009年度の子どもと共に育つ親の会では、毎月のイベントに加えて「ほくほくの会」という親子の農業体験を実施した。春に種芋を植え、水やりや土寄せなどでたくさん汗をかいて収穫したジャガイモは、子どもたちとママたちに沢山の体験と学びをもたらしてくれたと思える。

毎月のイベントでは、年を重ねるごとに参加者が多く集まるようになり、毎回欠かさずに参加してくれる親子も増え、2009年度は募集をするとすぐに定員に達してしまうことも少なくなかった。これは親会が「また行きたくなる場」として認められてきたことの証として、とても嬉しいことだと考えている。しかし一方で、参加者が固定化し新しい参加者の方がなかなか参加できないというジレンマも発生してきた。会場の収容人数やスタッフの負担を考えると、規模や回数のボリュームを増やすことは現実的には困難といえる。

スタッフの間で話し合いをした中では、もともと地域で知らないもの同士が集まって体験を通して親交を深めるのが目的であったことを考えれば、既に一定の目的を達成しているのではないかと、という意見が多くあった。

以上のような経緯を踏まえた結果、結論として2009年度をもって親会の第1フェーズを終了させることになった。2010年度は、これまでの参加者同士が自主的に集まり、自分たちでイベントを企画運営できるようサポートすること、そして第2フェーズへ向けたスタッフのスキルアップをメインに活動しようと考えている。

これまで親会に協力してくださった方々には、心より感謝いたします。ありがとうございました。

## 2-4 語学教室

金曜日の中国語教室はサロンの感じで中国の方々とお話のできる場所であり、その他の教室は外国人のスキルを活かした活動を支援するために施設の提供をしている。教師として話をしているときの外国人の人は、いつもいきいきと輝いて、仕事にやりがいを持って頑張っている様子だ。

木曜日夜開催の英会話教室は夜7時～8時と8時～9時の2クラスで行っている。1クラス3～4名の少人数制。下は高校生から中高年までのメンバーとなっている。

毎年、日帰り旅行や食事会等を行い、交流を図っている。残念ながら日程調整の関係で、今年は日帰り旅行に行くことができなかった。来年はぜひ行きたいと思えている。

また、今年度は途中から開催日程を変えたことで、ふじみの国際交流センターの他の事業と時間が重なってしまった。そのため、開催場所としてセンターが使えず、西公民館を借りて教室を行っていたが、22年6月からは元通りふじみの国際交流センターで行うことになっている。

		中国語教室		韓国語教室		英会話教室	
開催日時		金曜日 午前	山崎教室 不定期	月曜日 午前	水曜日 午前	木曜日 夜間	月2回 火曜日
開催回数/年		48	71	40	50	40	17
参加者数 (延人数/年)	講師	66	71	40	50	40	17
	受講者	296	82	263	198	236	38

### 3 多言語情報の収集と提供

#### 3-1 生活情報誌「インフォメーションふじみの」

今年も、(株)オムテック社の多大な支援もあり「インフォメーションふじみの」もつつがなく予定の発行を遂行することができた。現在3月号をもって151号を数えるようになった本誌も、十数年の実績を持つ歴史ある出版物として、その存在の意義をたかめている。

同時に本年からは、行政書士を職業とする新しい編集スタッフや若い社会人の参加もあり、スタッフの充実はもちろんのこと執筆陣にも強力な布陣で臨めた意義は大きいものと申し述べたい。

経済状況の厳しさで日本人のみならず外国籍市民もまた苦しい環境に置かれていることは論をまたない。そのような中、母国を離れて生活することのハンディキャップを最小限にとどめられればという願いから、身近な情報だけでもいち早く届けられるよう、生活に密着した話題をリアルタイムで届けてきた。毎月1回の編集会議で内容選択に苦心してきた編集スタッフの努力も、生活相談という現場主義の経験から裏打ちされたものが多いだけに迫真に迫り大いに役立っているものと確信している。また貴重な時間を割いて翻訳にあたってこられた外国籍市民の皆さま、それを手配し、きれいにデザインしてくださった日本人スタッフ、皆さまのご努力とご理解に深甚の感謝を申し述べたい。

「インフォメーションふじみの」の内容は、富士見市の広報誌である「広報ふじみ」にも本年も毎号紹介され、市内の各公共施設に常備され、周知に一役買っていたいでいる。

先日も「市役所の窓口においてある情報誌を手にとったら、タガログ語のページを見つけて涙が出るほど嬉しかった」とフィリピンの青年達がセンターに来て話してくれた。

一方ホームページに掲載されていることで、センターに予備知識のない外国籍市民にも多く利用されて、バックナンバーを含め「外国語のページ」として(<http://www.ficec.jp/foreign/>)引き続き閲覧できるようになっている。

#### 発行の概要

翻訳言語/中国語、英語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、スペイン語、日本語

発行回数/毎月1回 年12回

発行部数/6,000部

発行日/毎月1日

配布場所/2市1町の公的機関。他に関係機関や会員に郵送。個人的にも手渡し作業を行って情報の周知をしている。

活動内容/企画会議を毎月第1火曜日午前実施。

原稿作成に続き、翻訳依頼 受領 印刷 配布 の流れで実施

スタッフ/企画 原稿作成 編集 印刷 配布 計7名

翻訳者/6名(6ヶ国語)

#### 各号の内容

140号 4月号

・スキルアップや資格取得を目指す人「埼玉県立高等技術専門学校」を考えてみませんか ・ふじみ野市大井総合支所での手続きが変更になりました。・「家電リサイクル法」・定額給付金の申請

141号 5月号

・押す前に今一度考えましょうハンコ(印鑑)の使い方 ・日本語教室端午の節句 ・翻訳者募

集 ・麻しん予防接種 ・子育て応援特別手当

142号 6月号

・DV、離婚・・・不幸にも住む場所がなくなった時、こんなにもあります救いの手「日本の社会保障制度」 ・ハローワークの多言語対応

143号 7月号

・ローン地獄に落ちないための賢い消費 借りる前、買う前に今一度考えましょう ・パソコン教室のご案内 ・日本の夏はやっぱり「花火」 ・ガーデンビーチのお知らせ

144号 8月号

・友達作り、趣味作りは簡単、お得な公民館、交流センターのサークル活動で ・七夕祭りとうかた試着会 ・富士見、川越有料道路無料化 ・センターの夏休み「子どもクラブ」

145号 9月号

・国籍を取るのに必要な条件が変わったことを知っていましたか？ ・定額給付金、子育て応援特別手当申請 ・母国の香りがするお店紹介コーナー ・ハローワーク「マザーズコーナー」

146号 10月号

・払った年金が戻ってくるのを知っていましたか？ やむなく母国へ帰る時、解約できるのです  
・お友達を誘いあって遊びにおいでください。富士見市の国際フォーラムなど。

147号 11月号

・健康保険が払えない時、分割で払うこともできるのです。 ・「富士見市国際交流フォーラム」は、  
11月15日(日) ・4カ国語版「地震に自信を」が完成など。

148号 12月号

・義務教育、でもこんなにもお金がかかるのです ・中学入学を待つひとり親家庭児童に、就学支度金支給制度があります ・出産育児一時金が増額されますなど。

149号 1月号

・国際結婚、いいことばかりではありません。お互いのコミュニケーションを大切に！ ・「新型インフルエンザ」ワクチン接種実施医療機関が発表されました、など。

150号 2月号

・子どもが泣いています。悲鳴を上げています。ネグレクトであることを意識しない親が増えています  
・「外国人支援センター埼玉」を知っていますか、など。

151号 3月号

・暴力夫との離婚成立前に新しい恋人の子どもができたとき・・・離婚後300日問題について考えましょう ・もしもの時に役立ちます「平成22年度交通災害共済会会員募集」など。

### 3-2 機関誌「ハローフレンズ」

ふじみの国際交流センターが創立して以来発行していた「センターニュース」をリニューアルして、2006年6月から発行し始めた機関誌が「ハローフレンズ」。判型をそれまでのB5判からA4判とし、より多くの文字、写真等が収録できるよう、誌面の充実化をはかった。内容的には、センターで行われている活動内容の紹介ばかりでなく、外国籍市民の現況に関する論評なども幅広く掲載している。

隔月発行で、毎月、偶数月1日の発行。発行部数は、1,000部。会員、協力者等に郵送しているほか、周辺市町村の公共機関、公民館などで市民に無償配布している。

2009年度に発行した内容は次のとおり。

2009年4月号(第102号)

- ・外国の人たちから料理を学ぶ「ふじみ野レストラン」が大盛況
- ・外国人と日本人の地域交流イベント「違うからいい!・・・」開催
- ・ステキな外国人 フィリピン出身の穴沢エミリンさん。
- ・入管法ひとくちノート(2)「在留特別許可」って何?

2009年6月号(第103号)

- ・子どもと共に育つ親の会 2009年度も活発に活動中
- ・国際協力団体紹介
- ・ステキな外国人 ドイツ出身のシルビア・クヌストさん
- ・入管法ひとくちノート(3)「定住者」ってどんな人?

2009年8月号(第104号)

- ・ふじみの国際交流センター総会を開催
- ・子どもとともに育つ親の会イベント
- ・「チャレンジ・ディスカバーワールド」開催
- ・生活相談での勉強会 楽しく勉強しています!
- ・入管法ひとくちノート(4)認知と子の国籍。国籍法改正をめぐって。

2009年10月号(第105号)

- ・日本語教室で「ゆかたで七夕」を開催
- ・大学とFICECの協働による活動
- ・夏休みには各地で子どもたちのキャンプを実施
- ・入管法ひとくちノート(5)オーバーステイについて

2009年12月号(第106号)

- ・日本語指導講座、参加者募集中(全10回)
- ・FICECの活動紹介「インフォメーションふじみの」
- ・大学生の目から見たFICECの活動
- ・入管法一口ノート(6)「外国人登録カード」とは。外

2010年2月号(第107号)

- ・日本語教室で「年越しそば」体験
- ・人身売買の“要監視国”ニッポン
- ・インターンの見たFICECの活動
- ・入管法一口ノート(7)「永住ビザ」とは。申請のための三つの条件。

### 3-3 ホームページ

ホームページは、多言語情報誌「インフォメーションふじみの」や機関誌「ハローフレンズ」とともに、センターが外部に対して情報発信、広報をしていくための大きな手段となっている。

近年「ホームページを見た」と言ってボランティア志望の人たちが多くセンターに来所するようになったのも、その1つの現われだと思う。

内容としては、センターの活動紹介ばかりでなく、外国籍市民に関する統計資料や、多言語による外国籍市民のための「生活ガイド」のページなど、多岐にわたっていて、さまざまな情報が掲載されている。

ホームページの中でことにアクセス数が多いのが、多言語情報誌「インフォメーションふじみの」のPDF版。毎月、日本語のほか、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語の7ヶ国語で掲載されており、海外からのアクセスも多いものと考えられる。また、「生活ガイド」のページも、日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語の6ヶ国語で掲載されており、アクセス数がきわめて多いページとなっている。

毎月のアクセス件数は次のとおり。

	全体のアクセス件数	トップページ等	生活ガイドホームページ	インフォメーションふじみの	外国料理	ニュースルーム	FICECの5年の歩み
2009年4月	21,910	1,824	7,139	8,524	1,121	663	243
2009年5月	23,898	1,904	6,756	10,404	1,152	641	236
2009年6月	19,764	1,901	7,025	6,667	961	697	167
2009年7月	19,533	1,856	6,708	6,814	805	678	225
2009年8月	18,755	1,581	5,875	7,451	703	628	153
2009年9月	23,865	1,896	7,064	8,345	772	690	291
2009年10月	25,819	2,166	8,884	9,753	850	899	249
2009年11月	24,008	1,727	7,815	9,761	879	728	217
2009年12月	19,947	1,500	7,103	7,269	761	810	114
2010年1月	25,499	1,951	9,695	9,099	895	875	241
2010年2月	21,565	1,674	7,931	7,890	921	851	168
2010年3月	24,098	1,897	8,735	9,426	785	821	153

### 3-4 翻訳・通訳

翻訳合計 48 件

富士見市 3 件、

- ・国際フォーラムの案内（英語・中国語・ポルトガル語）
- ・シャバツ市長及び富士見友好協会会長宛富士見市長及び富士見国際友好協会会長の親書（英訳）2 件

ふじみ野市 2 件

- ・子育て支援課「子育て応援特別手当 申請書」
- ・環境課「ゴミカレンダー修正」（英語・中国語・韓国語・タイ語・ポルトガル語・タガログ語）

三芳町 2 件

- ・健康カレンダー（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語）
- ・ごみ分別回収カレンダー（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語）

埼玉県婦人相談センター 1 件

- ・入所契約に関する書類（韓国語・タガログ語）

個人からの依頼 40 件

- ・英文和訳 34 件 ・和文英訳 5 件 ・韓国語書類和訳 1 件

通訳合計 82 件

- ・県婦人相談センター 1 件 タガログ語 相談内容聞き取り（場所 / 浦和）
- ・病院での通訳中国語 2 件
- ・富士見市福祉課中国語 6 件
- ・ふじみ野市福祉課ベトナム語 20 件
- ・個人からの依頼 53 件

## 4 日本語学習事業

### 4-1 日本語教室

ファミリーな雰囲気与生活優先の日本語を学ぶ、日本語教室

今年もふじみの国際交流センターの日本語教室は、年末年始を除き年中無休を標榜して開講できた。最近では新規の参加者が多くなり、ここにも社会情勢の変化の波が寄せてきているという感じを強く持つ。参加者の動機は口コミやホームページによるものと半々であり、ファミリーな教室が案外人気を保っているのだろうかという感想である。

受講生の構成は、日中の木曜午前という環境のためか、例年通り主婦が圧倒的に多く、また新規の受講生の多くが中国国籍を持つ方が多くなっているのも最近の特記事項と言える。

1 昨年は日本語検定受験対策が話題となったが、今年も受験希望者がおり3級合格の喜びをかみしめておられた方もいた。しかし本来の指導目標が、生活手段としての日本語の習得を目指すものという見地から、今年もそこに重点を置いてきた。日本語ボランティアの方々にもそれを理解していただき指導に当たっていただいている。ただ問題は、多くの受講生が短期的な方が多く、カリキュラム通りの指導がなかなかできない状況をどう考えるかが気になるところである。目下思うところは、あくまでも生活中心の指導に徹し、生活の中での日本語習得に意を注ぐべきであるという方向性をぶれさせないことが必要と感じている。従いその方向のテキスト作りも視野に入れていきたいものとする。

今年も苦労したのは指導者側に当たる日本語ボランティアであったが、新しい指導者も増え1対1の指導ができるようになってきている。

一方学習者に日本文化を少しでも楽しんでいただこうと、昨年からは実施しているさまざまなイベント、ひな祭り、観桜会、端午の節句、七夕祭りなどを行ってきた。中でも圧巻であったのは、指導者として参加くださっておられる戸塚さんご夫婦による「そば打ち体験」であった。全てのセットをご自宅から持ち込んでのそば打ち実演と体験は、他教室ではできないパフォーマンスであろうと特記したいイベントであった。次年度も回数を増やし楽しめる企画を考えていきたい。

学習参考書は、日本語検定対策本、発音に関する辞典、日本語文法の教え方 他を購入でき年々充実の度を増している。

#### 2009年4月1日～8月20日の開催概要

- ・ 8月13日センター盆休みのため休みにしたが、学習者への「休み」の旨の連絡が行き渡らなかったことを踏まえ、出かけてみた。結果、従来からの学習者が友人を連れて来られたので、休みの旨伝え帰ってもらった。その後10時3分、新規の学習者が2名来ましてやむなく指導中のところ、梶さんが様子を見に来てくださり一人ずつ担当。従来の授業を実施した。

開講回数... 21日

学習者数... 延べ156人、平均7.4人 最高11人 最低3人(お盆休み分)

- ・ 5月7日 端午の節句を実施
- ・ 8月6日 七夕を浴衣とソーメンで楽しむ会を実施。

#### 《課題》

- ・ 休業中のセンターオープンは、事前了承の無いままの開講で、今後の対応についての協議が必要か
- ・ 夏休みの子供クラブとのドッキング、子供にかかるボランティアが多く大人の学習者に対して指

導者が不足。夏休みの木曜日は午前か午後の2部制も考えられないか。1週間に1回しか来ない学習者に指導者をあてられず、少し気の毒という感じがした。

2009年8月21日～2010年1月21日の開催概要

・本年は社会情勢の変化に伴うためか、一部の教室をのぞき学習者が増える傾向にあるようである。また日本語検定の資格を取得しようという学習者も増加の様相を呈している。ただ、この教室は生活レベルの日本語早期習得を願うことにより聴解を優先させていきたいと考えている。

- ・開講回数...20回
- ・学習者数・・・学習者述べ人数 106人 1週平均5.3人 週最多 12名 最少 4名
- ・講師...平均 5人
- ・12月17日 そば打ち体験 参加者日本人を含め27名  
講師 戸塚泰男 先生(日本語講師)

《課題》

学習者のばらつきのため、一概に言えないのだが受講生が12名となると手狭になる点が気になる。よく指導者の声が聞き取れないという点も生じる。

2010年1月21日～3月31日の開催概要

・学習者の数は、変化はないが、前回報告同様平均して増えた状態が続いている。少し報告と時期がずれるが、4月18日に行われた10団体の日本語連絡会においても、企業からの参加者を持つ教室以外は漸増の傾向模様。

新規参加者がセンターを知る動機としてはHP、知人の紹介と半々の状態である。国籍的には中国の参加者が多い傾向にある。

- ・開講回数...9回
- ・学習者数・・・学習者延べ人数70人 1週平均7.7人 週最多8名 最少4名
- ・講師...平均 6人
- ・2月4日 節分 参加者日本人を含め18名
- ・3月4日 ひな祭り 講師、戸塚さん・半田さんによる琴の演奏と体験。参加者日本人を含め26名。恒例の甘酒を楽しんだ。

最後に、ふじみ野市“大井地区歳末助け合い募金配分金事業”として「日本語の教え方とコミュニケーション」という講座を10回4カ月にわたって実施できたことも大きな話題と言える。受講者は延べ274名、講師は当センターの監事である大島博幸先生があたってください。最後に修了証を手渡し今後の活躍を期待し終了となった。修了生は2市1町の日本語教室でボランティアとして活躍している人やセンターの会員になって日本語指導に当たってくれている。

受講者：延べ274人

場所：大井総合福祉センター・大井中央公民館

12/16	日本語ボランティアになる	2/10	初級授業の実際
12/22	日本語を教えるって？	2/16	楽しい教室活動を！
1/12	教え方の枠組み	3/2	コミュニケーションの実際
1/20	授業を組み立ててみよう！	3/10	個別技能の指導
2/2	初級授業の実際	3/16	学習者中心の活動を！

1/27 インドネシア料理教室 講師：三浦シスカ

2/24 パキスタン料理教室 講師：サルマ・サタール

3/24 (修了式と)スリランカ料理 講師：ヤマンガ・インドラニ

#### 4-2 親子日本語教室

2市1町は狭いようで広いので、外国人が近くで気軽に日本語の勉強が出来るようにと考え、大井中央公民館と共催ではじめた日本語教室だが、毎週近隣の会社に勤める外国人労働者が日本語の勉強に来ている。

1日平均 5～6名 ボランティア 6名

6月20日に5周年記念パーティーを開いた。

22年度からは、公民館事業にしたいという行政からの申し出を受け、ふじみの国際交流センターは講師を派遣するという形に変わることになっている。

#### 4-3 国際子どもクラブ

昨年度も長期休暇中は火、水、土曜日に活動しスムーズに取り組めたのに、今年は喜ぶべきか憂うべきか学習者が多くボランティア不足の日があり、スタッフの増加が課題として残った。

また1月16日に、初めて国際子どもクラブボランティア懇談会をした。年明けの忙しい中11人の参加者があった。

子ども達はそれぞれ学習内容の違いがあるが、日本語の習得が大事だということではボランティアの意見が一致した。これからも、毎回の学習終了後の話し合い以外に、学期に1回くらいはもっとじっくりと話し合いを持ち、必要な情報は知らせあっていこうということになった。

今年特に嬉しかったことは、4人の中学3年生の子どもたちが高校を受験し、それぞれ希望の高校に合格できたこと。3月最後の日には簡単な「おめでとうパーティー」を行った。

また、中学校の1年から3年までの5教科の教科書を買ひ、ルビ振りをして応援していきたいという取り組みも始まっている。

今年度の学習者は、昨年度の331人に対して78%増の588人、ボランティアも368人に対して57%増の576人と、学習者、ボランティアとも大幅な増加となった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	昨年度計
学習者	34	60	42	96	123	34	40	47	33	33	26	20	588	331
指導ボランティア	33	42	42	95	88	35	43	48	30	32	42	46	576	368

単位：人

また、出身国別学習者はフィリピンが半数近くで45.9%、ついでパキスタン、中国となっている。

フィリピン	中国	韓国	ベトナム	チリ
45.90%	16.60%	8.30%	7.70%	2.20%

## 4-4 二市一町日本語教室ボランティアネットワーク(日本語ボランティア連絡会)

日本語ボランティア連絡会として、3カ月に1回開催される二市一町日本語教室ボランティアネットワークは、ふじみの国際交流センター日本語教室、富士見日本語サークル、上福岡日本語教室、みよし日本語教室、大井親子日本語教室、大井日本語クラス、弁天の森日本語サロン、こども日本語学習クラブと8団体で構成する。

この連絡会は、平成10年ふじみの国際交流センターが、よりよい日本語指導の在り方と相互の情報を交換することを目的に、それまでばらばらに存在していた日本語教室の団体に呼びかけ実現したものである。そして21年度末には48回を数えるにいたった。今年も、自主的な申し出もあり、志木にある「かざぐるま日本語教室」、新座の「新座日本語の会」の参加があった。

連絡会では、学習者の傾向を始め各教室の現況から社会問題に発展しそうな話題まで、多岐にわたる情報交換が行われ、回を追うごとに団体同士の結びつきを強固なものにしている。

月 日	幹事日本語クラス	開催場所
4 / 12 (日)	大井日本語クラス	大井中央公民館
7 / 12 (日)	上福岡日本語教室	上福岡西公民館
10 / 11 (日)	富士見市日本語サークル	鶴瀬西交流センター
1 / 17 (日)	みよし日本語教室	藤久保公民館

## 5 子どもの健全育成

### 5-1 ふじみの国際わいわいクラブ

ふじみの国際わいわいクラブは、平成21年度の年間テーマを『君はトモダチ！ココロのコミュニケーション』として、以下のような活動を行った。各回26～47人の子どもたちが参加したが、第9回の「親わい」には、約20人の保護者も参加した。

第1回 顔合わせレクリエーション/活動説明会

日時 平成21年5月9日(土)

場所 鶴ヶ岡コミュニティセンター・鶴ヶ丘小学校(埼玉県ふじみ野市)

第2回 世界の料理(フィリピンのお菓子作り)

日時 平成21年6月13日(土) 12時半～17時

場所 ふじみ野交流センター(埼玉県ふじみ野市)

第3回 ホタル鑑賞ナイトウォーク

日時 平成21年7月11日(土)

場所 びん沼公園(埼玉県富士見市)

第4回 キャンプ

日時 平成21年8月7日(金)～9日(日)

場所 名栗げんきプラザ(埼玉県飯能市)

第5回 スケート(体験&交流活動)

日時 平成21年9月12日(土) 11時～17時

場所 東武川越スケートセンター(埼玉県川越市)

第6回 世界の文化祭(世界のパン食い競争、カルタ、借り物競争)

日時 平成21年10月10日(土) 11時～17時

場所 ふじみ野小学校体育館(埼玉県富士見市)

第7回 わいわい de ゴザール(自分だけのカレンダー作り)

日時 平成21年11月14日(土) 10時～17時

場所 ふじみ野小学校体育館(埼玉県富士見市)

第8回 知って学んだことをまとめよう!(羽子板作り・一年の振り返り)

日時 平成21年12月12日(土) 13時～17時

場所 上福岡西公民館(埼玉県ふじみ野市)

第9回 親わい 活動報告&写真展示

日時 平成22年2月28日(日) 11時～16時

場所 上福岡西公民館(埼玉県ふじみ野市)

### 事業からの撤退

これまで、約10年にわたり活動を行ってきたふじみの国際わいわいクラブだが、2009年6月に担当理事が退任して以降、当事業への参加理事がいなくなるなど、センターとの活動上の連携関係が保てなくなってきた。そこで、平成22年度以降、センターとしては当事業から撤退し、「国際わいわいクラブ」は独自の活動としての方向を模索することになった。

## 6 その他

## 6-1 行政との協働

「みんなのまちをみんなでつくろう」と日本各地で市民参加型の事業が展開されるようになった。ふじみの国際交流センターも国際交流フォーラム関係はもとより、子どもやまちづくりに関する事業の協働も求められるようになった。協働によって行政職員に在日外国人の実状を伝えることができ、私たちにとってもとてもうれしいことといえる。

これからも求めに応じて共生社会実現のために自分たちの知識や経験を大いに提供していきたいと考えている。

また、今年度末から、埼玉福祉課との連携で放課後の子どもの学習支援についての打ち合わせが始まっている。

月日	協働先	内 容	場 所
4 / 1	ふじみ野市	ふじみ野市社協発足総会	ふじみ野市役所
4 / 13	富士見市	富士見市国際フォーラム打合せ	センター
5 / 1	富士見市	富士見市国際フォーラム打合せ	センター
5 / 22	ふじみ野市	ふじみ野市社協会議	ふじみ野市役所
6 / 11	ふじみ野市	ディスカバワールド打合せ	センター
7 / 24	ふじみ野市	ディスカバワールド打合せ	センター
7 / 28	ふじみ野市	「ディスカバワールド」 各 30 人参加	センター
7 / 29	ふじみ野市	「ディスカバワールド」 各 30 人参加	大井中央公民館
7 / 31	ふじみ野市	社協歳末共催事業説明会	大井中央公民館
10 / 19	富士見市	富士見市国際フォーラム打ち合わせ	文京大学
10 / 24	富士見市	富士見市国際フォーラム打ち合わせ	文京大学
11 / 15	富士見市	富士見市国際フォーラム 150 人参加	ふじみ野交流センター
1 / 16	ふじみ野市	ふじみ野市まちづくり審議会	大井中央公民館
1 / 21	埼玉県	彩の国埼玉国際交流協力ネットワーク会議	北浦和地方庁舎
2 / 5	埼玉県	協働提案事業説明会	さいたま市民会館
3 / 1	埼玉県	子どもの学習について打ち合わせ	県庁福祉課
3 / 10	ふじみ野市	ふじみ野市まちづくり審議会	大井総合支所
3 / 10	ふじみ野市	まちづくりまちおこし大学打ち合わせ	センター
3 / 25	2 市 1 町	2 市 1 町国際化会議	富士見市図書館
3 / 29	埼玉県	子どもの学習について打ち合わせ	県庁福祉課

## 6-2 NGO・NPOネットワーク

NGO・NPOのネットワークが盛んに開かれるようになった。お陰様で県内のあらゆる団体と顔見知りになり、いろいろな情報や知恵や勇気をもたらしている。

内 容	開催日	場 所
埼玉NGOネット定例会	毎月1回	北浦和地方庁舎
県、交流協会、NGOネット3者会	隔月1回	北浦和地方庁舎
彩の国さいたま国際交流協力ネットワーク会議	年4回	北浦和地方庁舎
彩の国さいたま国際交流協力ネットワーク幹事会	年4回	北浦和地方庁舎
南西部地域 NPO 連絡会	年6回	朝霞文化センター
国際フェア	10/30～11/3	新都心けやき広場
国際協力講演会	2/5	県民健康センター
南西部NPOネットワーク1周年記念	2/6	朝霞文化センター
NGO マネジメント講座	2/15	県国際交流協会
外国籍児童の学びネットワーク会議	2/17	北浦和地方庁舎
開発教育セミナー	2/27	日本語国際センター

## 6-3 その他

月日	内 容	場 所
4/4	セカンドリーグ埼玉発会式 「コミュニティビジネスについて」	さいたま市
4/12	マイカルサティ黄色いレシートプレゼント授賞式	サティ
4/13	埼玉日報記者取材で来所 水野さん	センター
4/20	D0 コープ職員取材で来所	センター
5/13	セカンドリーグ埼玉職員来所	センター
5/14	埼玉日報記者取材で来所 水野さん	センター
5/15	東入間遊技業防犯協力会贈呈式	みずほ台彩花
5/17	クムスタカリング発表会パネルディスカッション「センターの活動 現状と課題」	上福岡図書館
6/10	UPS キャンプ打合せ	藤久保公民館
6/16	埼玉日報記者来所	センター
6/24	埼玉県国際交流協会新会長と課長来所	センター
6/25	ふじみ野市要保護児童担当者会議	ふじみ野市役所
6/26	埼玉県社会福祉協議会章職員来所	センター
7/1	セカンドリーグ埼玉職員来所	センター
7/17	埼玉日報記者来所	センター
7/27	立教大学コミュニティ福祉学部担当教員と学生が調査実習の為来所	センター
11/10	セカンドリーグ埼玉とコミュニティビジネス打ち合わせ	センター
11/24	セカンドリーグ埼玉とコミュニティビジネス打ち合わせ	センター

12/21	要保護児童連絡会	ふじみ野市役所
1/5	「外国籍児童の学びの保証について」請願	東松山
1/11	埼玉NPOセンター10周年記念	埼玉トヨペット
2/2	「外国籍児童学びの保証について」請願	霞ヶ関
2/18	ふじみ野市ボランティア連絡会	フクトピア
2/20	「つなげようふじみ野パワー協働への第一歩」	西公民館

#### 6-4 センターの365日

今年もセンターには大勢の訪問者があった。私たちの活動が社会的に評価されていることの一つの現れだと思う。一人一人の人々との出会いを大切にしていきたい。

月	日数	来 訪		スタッフ	計
		外国人	日本人		
4	26	170	99	159	428
5	26	171	86	155	412
6	26	191	99	170	460
7	28	236	113	189	538
8	24	248	111	175	534
9	24	117	80	159	356
10	25	122	106	177	405
11	23	111	83	164	358
12	24	108	100	136	344
1	24	142	110	190	442
2	24	114	100	176	390
3	26	94	89	204	387
計	300日	1824人	1176人	2054人	5054人

6-5 センター内会議

「理事は全ての事業を把握していなければいけない」という監査の指導を受け、今年は理事会を月1回開催した。また、スタッフ会議はスタッフ間の密な連絡を目的に、それぞれが今抱えている課題をあげ、その解決に向けて全員が関心を持って考える会議となるよう月2回の開催を目指した。

月日	会議	主な内 容	場 所	出 席
4/7	スタッフ会議	・総会に向けて ・サティイエローキャンペーン他	センター	9人
4/21	スタッフ会議	・コープ助成金でパソコンを購入 ・文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 ・NPOの動きについて ・総会に向けて	センター	9人
4/25	理事会	総会準備	センター	
5/16	理事会	総会準備	センター	
5/19	スタッフ会議	・UPS基金「教育キャンプ」 ・「就労支援のためのパソコン教室」 ・SSCS(地域社会創造ファンド)面接	センター	7人
6/2	スタッフ会議	・総会延期とその周辺事情報告 ・富士見市国際友好協会よりホームステイ依頼 ・富士見市勝瀬小国際理解 ・子どもクラブボランティアが足りません	センター	9人
6/7	臨時理事会	・20年度決算報告 ・監査報告と内部統制 ・3つの提言	西公民館	12人
6/16	スタッフ会議	・埼玉県立大学「IP演習」説明 ・理事会報告 ・「ディスカバーワールド」 ・富士見市国際フォーラム ・「地域づくり推進事業」 ・コミュニティビジネス「携帯網による通訳事業」	センター	9人
6/19	理事会	・20年度事業報告と収支決算書の確認 ・会計監査報告 ・3つの提言 ・理事及び監事候補の件 ・21年度事業計画案及び収支予算案最終確認	センター	11人
6/28	総会	・事業報告書および収支予算書承認の件 ・事業計画書及び収支予算書承認の件 ・理事・監事選任の件	西公民館	24人
6/28	第1回理事会	・理事長、副理事長、常務理事の選任 ・理事会の役割と運営方法 ・ボランティア保険	センター	9人
7/7	スタッフ会議	・総会、理事会報告 ・UPS基金「教育キャンプ」 ・SSCS インターンシップ受け入れ開始 ・埼玉大学インターンシップ ・埼玉県協働アイデア提案会 ・日本語教室「七夕まつり」 ・子どもクラブ夏休み勉強会	センター	15人
7/21	スタッフ会議	チャレンジディスカバーワールド、日本語教室「七夕まつり」、日本語指導養成講座企画、シェルター継続運営契約	センター	7人
7/26	第2回理事会	・各事業の報告と事業内容審議方法 ・理事会報告担当理事の決定 ・理事会年間開催日程 ・UPS基金「教育キャンプ」経過報告 ・わいわいクラブ ・認定申請をしない理由説明	センター	9人
8/4	スタッフ会議	大井社協歳末福祉事業企画案「日本語ボランティア講座」、UPS基金「教育キャンプ」情報、理事会報告	センター	10人
8/21	第3回理事会	UPS基金「教育キャンプ」経過、会計細則、富士見市国際フォーラムの業務委託	センター	9人
9/1	スタッフ会議	関沢小学校国際理解、会計細則と各プロジェクトの会計担当者へのお願い、子どもの居場所としてセンター開放について意見交換	センター	11人

9 / 26	第 4 回理事会	各プロジェクトの会計担当者へのお願い、認定申請しない理由、わいわいクラブについて	センター	9 人
10 / 6	スタッフ会議	I P 演習、施設利用、事業案内、翻訳・通訳者名簿の更新、旅費・交通費規程の見直し	センター	13 人
10 / 20	スタッフ会議	施設管理運営に関する規則案、センターの間仕切りの提案、会員対象の交流会	センター	11 人
10 / 25	第 5 回理事会	規程類文書の保存方法、施設管理運営規則、施設使用報告書・交通費精算書、語学教室との騒音トラブル	センター	11 人
11 / 17	スタッフ会議	ふじみ野市国際交流フェスタ、「日本語の教え方とコミュニケーション」について、S S C S 中間報告会	センター	11 人
11 / 27	第 6 回理事会	管理規則マニュアル、ふじみ野市国際交流フェスタについて、ふじみ野市生活ガイドブック作成委託、パンフレット	センター	7 人
12 / 15	スタッフ会議	婦人相談センターからの翻訳依頼、DV 被害者支援ボランティア講座、「日本語の教え方とコミュニケーション」、大掃除	センター	6 人
12 / 23	第 7 回理事会	携帯電話によるコミュニケーションプラン、学びの保証、行政との連携方法、メールアドレス変更、	センター	9 人
1 / 5	スタッフ会議	白石市「南蔵王協働学舎」との連携、「携帯電話による新たなコミュニケーションプランの導入」の提案、取り出し授業の廃止について、国際理解のセンター事務手数料について	センター	12 人
1 / 19	スタッフ会議	センター利用ガイドライン、うれし野会館の利用について、ふじみ野市大井中央公民館からの報告、子どもクラブボランティア懇親会	センター	8 人
1 / 24	第 8 回理事会	南蔵王協働学舎とセンターとの連携について、S S C S 7 期インターンのブログ、うれし野会館の利用について	センター	10 人
2 / 16	スタッフ会議	うれし野会館見学と感想	センター	7 人
2 / 26	第 9 回理事会	今後のわいわいクラブ、ふじみ野市まちづくりまちおこし大学企画、2 市 1 町国際化推進会議、「生活保護家庭の子どもの生活支援事業」	センター	7 人
3 / 27	第 10 回理事会	国際ワイワイクラブからの撤退について、センター移転について、事業報告と事業計画提出について、インターンシップ	センター	10 人

## 平成 22 年度 事業計画(案)

日本の人口が減少するのに反して、在日外国人が急増している。活力ある社会を維持し発展させるために、外国人の能力や労働力を活用しようという世論が沸騰してきている。

しかし反対の意見も多く、何の受け入れ体制も出来ていないのが現実といえる。

いろいろな理由で日本で暮らす外国人が、日本で働き日本に税金が払えるようにするためには先行投資が必要となる。

ふじみの国際交流センターは活動を始めて14年目となる。行政や企業・多くの皆様の力を借りながら、市民が出来る外国人支援を今年も積極的に行っていきたいと考えている。

国際交流への関心の深まりに加え、インターネットの普及により、ホームページを見たという見学希望者やボランティア希望者が増えている。

外国人支援を活動の軸にしながらも、多文化共生社会実現のために、そうした方々との出逢いを大切に、イベントや交流の機会を多く設け、啓蒙・普及に力をいれていきたいと考えている。

事業名	事業内容	実施日程	実施場所	従事者	受益対象者の範囲 及び人数	
外国人の人権擁護と自立支援	生活相談	5日/週	センター	10名	県内の外国籍市民	
	シェルター	随時	センター	10名	県内の外国籍市民	
	DV講習会	2回予定	センター他	5名	各15名	
	パソコン教室	第2・4木曜	センター	3名	外国籍市民	
国際理解と国際交流の推進	国際理解と社会教育	国際理解講座	随時	学校・公共施設他	50名	3000名
		大学との協働	通年	大学	5名	20名
		イベント	随時	2市1町、県内	5名	3,000名
	語学教室	中国語教室	毎週金曜・随時	センター	5名	500名
		韓国語教室	毎週月・水曜	センター	2名	400名
		英語教室	木・火曜	センター	3名	300名
	子どもと共に育つ親の会	随時	2市1町	3名	近隣市町民	
多言語情報の収集と提供	生活情報誌の発行	毎月発行	センター	11名	県内の外国籍市民	
	生活ガイドHP維持管理	4回/年	センター	6名		
	翻訳通訳	随時	センター	15名	外国籍市民	
日本語学習支援	日本語教室	毎週木曜	センター	12名	外国籍市民	
	国際子どもクラブ	土曜 他	センター	10名	外国籍児童	
	学習教材の整備	通年	センター	10名	外国籍児童	
	講師派遣	通年	藤久保公民館	5名	外国籍児童等	
広報	ハローフレンズ	隔月	センター	3名	会員と2市1町の住民	
	ホームページ	随時	センター	1名		

## 1. 生活相談

平成 21 年 7 月 15 日に改正入管法が公布され、3 年以内に施行されることになった。今までは市町村が行っていた外国人登録の仕事を法務大臣が代わって、在留管理に必要な情報を継続的に把握する制度。外国人登録証が在留カードに変わり、在留期間が変更され、3 つの在留資格取り消し事由が新設されるなど、さまざまな変更が行われた。在日外国人の自立支援を目的に私たちはボランティアといえども正しい情報を提供できるよう学習し、みんなで力を合わせ励ましあいながら相談に乗りたいと考えている。

## 2. シェルター

耐震やアスベストの関係で、現在のシェルター利用可能期限が刻々と迫ってきている。今と同じような条件で他を借りるのは難しいとなると、あと何年シェルター事業が続けられるか・・・時々心配が心をかすめる。また、自立できない入居母子を対象に母子支援施設を作りたいという希望が担当スタッフ間のもっばらの話題になっている。多額の資金と社会福祉士という有資格者がいなければできない仕事なので、夢のまた夢だが、いつか実現できるといいと思っている。

## 3. パソコン教室

今年度も前年度同様、「ワード」「エクセル」中心に進めて行く予定で、より幅広いパソコン習得のために 二か月に一度特別プログラムを開催する。希望者のみの参加とし、通常授業と並行して行う。予定している特別プログラムは下記の通り。

5 月第 2 木曜日

<OS の基礎><マイコンピュータを使いこなそう><フォルダって？><ファイルの整理整頓>

7 月第 2 木曜日

<ブラインドタッチをマスターしよう><練習のノウハウ>

9 月第 2 木曜日

<デジカメ写真活用術><取りこみ方～貼り付け><写真編集>

11 月以降の予定につきましては決まり次第お知らせします。

## 4. インフォメーションふじみの

生活情報誌であることを常に意識し、日常の生活に密着した情報をできるだけ早く伝えたい。可能であるならば、富士見市の広報[ふじみ]で本誌を紹介していただいているので、生活相談を委託されているという関係から、ふじみ野市、三芳町でも掲載されるよう働きかけたい。表紙のデザインで使用している切り絵の候補が少なくなっている。新しい素材を模索している。適切なアドバイスを期待したい。

新しい編集スタッフが入り企画会議も充実してきた。この路線を踏襲したい。

情報が大きなテーマであるため内容が充実し、紙面に収まらない時が出てくる。そのような場合は、スペシャルイシュー ということで増ページも視野に入れて考えたい。

## 5. 日本語教室

21 年度は日本文化を体感していただくということで、さまざまなイベントを行ってきた。センターの皆さまの熱い情熱に感謝の気持ちを申し添えたい。今後もこの考えは変えずに実行

をしていきたいと考えている。なかでも「そば打ち体験」は、最高のイベントと考える。今年もお願いできるのであれば引き続き実施したい。

5月22日(土)には、知り合いのお茶園が新茶の茶摘み体験を行うことになっている。日本人はもちろんのこと外国籍市民にとってもユニークなイベントになると考えるので、当日本語教室でも参加を思考している。料金は材料費100円位を予定しているというので、人数次第では日本語教室の予算で処理することも視野に入れて考えたい。

日本工業大学の研究素材として、日本語教材を作っていただいている。現在はCD利用の教材だが、これをDVDに生かした新教材の作製も考えられないか。合わせて、DVDを生かした授業のあり方も工夫したいものである。日本語の発音から挨拶、行事などの内容を考えている。この企画を遂行するに当たり助成金の申請も考えていきたい。

また「日本語の教え方とコミュニケーション」講座も印象深いイベントであった。講座終了の結果3人の新しいボランティアが参加するようになった。できれば同様の企画が誕生することを期待したいものである。その折は他教室にも協力をお願いし、幅広く推進する方向を考えている。

本年度も各大学や団体から体験学習のために参加したい旨の打診が入っている。中には長期の参加依頼もあるので、「東上線沿線の日本語教室マップ」作りを考えていきたい。企画内容は今後の企画会議に待つとして、各教室の内容をしっかりと取材した利用者判断の大きな動機づけになるものを期待したい。

先日の「日本語教室」での受講生からの要請もあったのでぜひ実行したいのが、このマップ作りと並行してセンターへの道順の詳細図である。センターに来たかったのだが、上福岡駅南口交番に聞いてみたがわからないという話であった。出来るものならば、行政関係のみならず、こうしたところにもセンターの地図が置けると利便さは高くなるのではないかと。是非この2点は実行してみたいものである。

日本語指導者用の「心構え表」を用意してみたい。設立当時に用意してあったものがパソコン時代とともに消失してしまい、新規においでいただいているボランティアへスタッフの皆さんが日本語担当出なくても説明が一貫してできるように体制を作りたい。

## 6. 行政との協働

### A. 富士見市・ふじみ野市・三芳町

外国語版生活ガイドホームページの維持管理

### B. ふじみ野市くらし安全課

生活ガイドブックの作成

まちづくりまちおこし大学2010の開催(10/2,16,30、11/20,27)

ふじみ野国際交流フェスタの開催

### C. ふじみ野市大井社会福祉協議会

ディスカバーワールド(7/26,27)

みんな集まれ小学生(8/21)

### D. 富士見市国際フォーラムの開催(秋)

### E. 埼玉県社会福祉課の業務委託を受けて、埼玉県西部福祉事務所管内の被保護者及び母子家庭の子どもの健全育成を支援するために「子どもの健全育成支援専門員」を派遣し、子どもの日常

的な生活習慣を身につけるための支援、子どもの進学に関する支援、引きこもりや不登校の子どもへの支援、外国人の子どもの健全育成支援に関する相談・支援業務を行う。「三芳町子ども学習広場」に対して講師2名、ボランティア3名の派遣依頼  
月・水・金曜日 15:00~17:00 と 19:00~21:00

F. ふじみ野市大井中央公民館より日本語教室の講師の派遣依頼  
木曜日 19:00~21:00、土曜日 13:30~15:30

G. 埼玉県NPO課主催の「NPOと行政との協働提案事業」に「6ヶ国語の生活ガイドブックの作成」と「携帯電話による通訳システムの導入」の2件を申請した。30倍の難関を通り抜ければ、費用の4/5が県負担なので資金がないため今まで実現できていなかった事業が実行できるようになる。受益者である在日外国人の権利を守り、行政の果たすべき業務が円滑になり、通訳者、翻訳者としての外国人スタッフの経済的自立支援に繋がると思う。

## 7. インターンシップの受け入れ

### A. 埼玉大学

共生社会教育研究センターNPOと出会う(土・日)フィールド見学数名  
経済学部(8/16~9/20)1人10日間2名  
教育学部サービスラーニング30時間1人

B. 文京学院大学コミュニケーション学科 春休みと夏休み1人3週間2~3人

C. 日本工業大学日本語教材作り 年間を通して7人

D. 県立埼玉大学IP演習10/4~7 5人

E. S S C S 400時間 1~2人

## 8. 各種会議・研修会

- ・2市1町日本語ネットワーク会議
- ・埼玉県NGOネットワーク会議
- ・彩の国さいたま国際交流協力ネットワーク会議
- ・埼玉県DV被害者支援ネットワーク会議
- ・埼玉県外国人相談ネットワーク会議
- ・埼玉県子どもの日本語教育を考える会議
- ・ふじみ野市要介護児童関係者会議
- ・埼玉県NPOネットワーク会議
- ・南西部地域NPOネットワーク会議

## 9. 講習会・学習会

DV被害者支援ボランティア講座を内閣府と埼玉県の援助を受けて、それぞれ1回開く計画。  
県立埼玉大学の保科先生を講師として2ヶ月に1回、病気・医療・福祉・保険に関する学習会を計画している。

特定非営利活動法人  
**ふじみの国際交流センター**  
(FUJIMINO INTERNATIONAL CULTURAL EXCHANGE CENTER)

理事長 石井ナナエ

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25  
TEL: 049-256-4290・049-269-6450 FAX: 049-256-4291 URL://[www.ficec.jp/](http://www.ficec.jp/)